

賀詞交歓

若者が夢と希望
を持てる業界へ

建設コンサル5団体

建設コンサルタツ協会九州支部（田中清支部長）、福岡県測量設計コンサルタツ協会（横山巖会長）、福岡県地質調査業協会（香月裕宣理事長）、日本補償コンサルタツ協会九州支部（白石陽一支部長）、全国上下水道コンサルタツ協会九州支部（松尾禎泰支部長）の5団体共催による2023年新年賀詞交歓会が13日、福岡市のANAクラウンプラザホテル福岡で開かれた。3年ぶりの開催に来賓や会員企業など約20



0人が参加した。

5団体を代表してあいさつした建設コンサルタツ協会の田中支部長は「ウィズコロナの時代に入り、少しずつ日常が戻りつつある」と前置きした上で、「全ての建設業務で同じ3Dデータを使うi-Constructionが23年度から本格的なスタートを迎えるため、全ての企業が対応できる環境を整えなければならぬ。若者が夢と希望を持てる業界にしよう」と呼び掛けた。写真。

来賓の藤巻浩之九州地方整備局長は22年度補正予算に触れ、「業界の皆さんの声を聞きながらどういったロット、工種、時期、エリアで発注すればいいか検討したい」と語る一方、5団体に対して「工事の発注で設計・用地ストックが減るので、皆さんのお力添えをいただきたい」と要望した。